

NO. 7 事業名 森林基幹道開設（改築）事業（国補）

箇所・地区名 まる やま  
丸 山 線

平成20年度 公共事業等再評価調書

1. 再評価調書

(区分) **国補** 県単

事業名		森林基幹道開設(改築)事業 (国補)		箇所・地区名		丸山線		所在地		南巨摩郡増穂町平林 南巨摩郡早川町奈良田		事業主体		山梨県													
当 初	計画期間	H2～H23		変更後	計画期間	H2～H20		今回見直し予定		⑤再評価時の評価状況〔継続〕 継続して事業を実施し早期完成を図られたい。(H15再評価時)																	
	総事業費	2,305百万円		総事業費	1,352百万円		—																				
(1) 事業の概要																											
①事業目的及び効果 本路線は、増穂町平林と早川町奈良田を結び、森林の管理経営及び地域住民の生活基盤の骨格となっている林道である。 当該路線は、増穂町西部の森林の管理経営と増穂町と早川町を短時間で連絡することを目的として、昭和25年から昭和42年までの18年の年月をかけて完成した。 しかし、時間の経過と共に老朽化が進み、併せて地質が脆弱なこともあり、毎年豪雨による土砂崩れが多発し、その復旧に多額の経費を要していた。 当林道の利用区域内の森林は、カラマツやヒノキ等の人工林が利用区域の約62%を占め、その多くは間伐の適期となっている。 また、本路線を骨格として、楡形山線、池の茶屋線、丸山支線、大久保平線、足馴峠線等が支線・分線として機能し、効率的な森林整備を行っている。 なお、山梨百名山の一つ楡形山への登山アプローチとしても頻繁に利用されている。																											
②事業概要 森林基幹道 計画延長 6,986m 幅員 3.6～4.0m 利用区域面積 2,244ha 森林資源蓄積量 224,178m <sup>3</sup>																											
③全体計画 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成19年度以前</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>6,301</td> <td>270</td> <td>415</td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>1,264</td> <td>32</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table>																	平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降	延長 (m)	6,301	270	415	事業費(百万円)	1,264	32	56
	平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降																								
延長 (m)	6,301	270	415																								
事業費(百万円)	1,264	32	56																								
④特記事項 早川町北部の生活関連道路は、早川に沿う県道南アルプス公園線のみである。同路線は自然災害を受けやすく、特に昭和57、58年の台風時では甚大な被害を被り、早川町湯島以北の集落は孤立したが、当林道によって生活物資を搬入したことがあり、災害時の緊急連絡道の役割も持っている。このような実績から、地元の林道に対する期待は特に強いものがある。																											
(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																											
①地域・住民の意向状況 早川町と増穂町を結ぶ基幹的な連絡林道であり、地域林業の活性化を図るために必要不可欠な基盤として、また、災害時には増穂町と早川町とを結ぶ緊急迂回路としての役割も担っていることから、早期整備を要望している。(増穂町長、早川町長から文書による意見聴取 (H20.5.15)) ②産業・経済情勢 なし。 ③国等の方針変更 なし。 ④上位計画・関連事業計画等の変更 ・山梨県林道網整備計画(平成17年3月) ・富士川中流地域森林計画(平成18～27年度) ・県有林管理計画(平成18～27年度) ⑤自然環境条件等の変化 なし。 ⑥その他 なし。																											
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																											
・事業採択時計画における事業全体B/C 未算出 ・再評価時計画における事業全体B/C 未算出 ・再々評価時計画における事業全体B/C 1.65 ・再々々評価時計画における事業全体B/C 1.65 $3,819,792 \text{ 千円 (効果額)} \div 2,309,288 \text{ 千円 (費用計)} = 1.65$ 林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。 事業採択基準値 1.00 以上																											

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p>	<p>⑤今後の事業執行上の問題点</p>																								
<p>①計画変更等の概要 当該事業における予定箇所を精査し、優先度及び緊急度の高い区間に限定することにより事業期間、事業費の縮減を図った結果、平成14年度に事業期間及び事業費を変更した。</p> <p>②施工済みの事業内容 全体計画のとおり</p> <p>③進捗率 (整備済計 6,571m / 全体 6,986m)</p> <table border="1" data-bbox="226 539 1084 730"> <thead> <tr> <th></th> <th>H15*</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>84</td> <td>87</td> <td>90</td> <td>93</td> <td>96</td> <td>100</td> <td>経過年数/計画年数×100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>84</td> <td>84</td> <td>88</td> <td>88</td> <td>90</td> <td>94</td> <td>実施済延長/計画延長×100</td> </tr> </tbody> </table> <p>*再々評価の実施年度 (H20は見込み)</p>		H15*	H16	H17	H18	H19	H20	算出方法	計画	84	87	90	93	96	100	経過年数/計画年数×100	実績	84	84	88	88	90	94	実施済延長/計画延長×100	<p>なし。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み 2カ年の計画期間延長により、完了できる見込み。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 計画期間の見直し 現計画 平成2年～20年度 変更計画 平成2年～22年度</p>
	H15*	H16	H17	H18	H19	H20	算出方法																		
計画	84	87	90	93	96	100	経過年数/計画年数×100																		
実績	84	84	88	88	90	94	実施済延長/計画延長×100																		
<p>④事業の進捗が順調でない理由 本路線は、増穂町と早川町とを連絡する重要な路線であるため、一般車両の通行を極力確保する必要がある。しかし、平成16年、18年と台風による災害を受け、その復旧工事を優先させたことにより、予定どおりの進捗が図れなかった。</p>	<p>(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性] 幅員の縮減、路側工や法面工の経済性を重視し、工事費の削減に努める。</p> <p>(6) 評価項目 [代替案立案の可能性] 事業目的の達成のためには当林道の改修整備以外に方策はなく、代替案の可能性はない。</p> <p>(7) 所管部の今後の方針 継続・<u>見直し継続</u>・その他( ) 事業の進捗率は約94%となっており、森林の適正管理、地域の林業振興のほか、地域間の連絡道として地元の強い要望もあることから、コスト縮減に努めながら、事業期間を2年延長し継続する。</p>																								

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



計画地遠景



林道沿線の森林整備状況

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



林道沿線の森林整備状況



搬出状況

3. 添付資料シート(3)

□現況等写真



林道整備前の崩落状況



林道整備済の状況